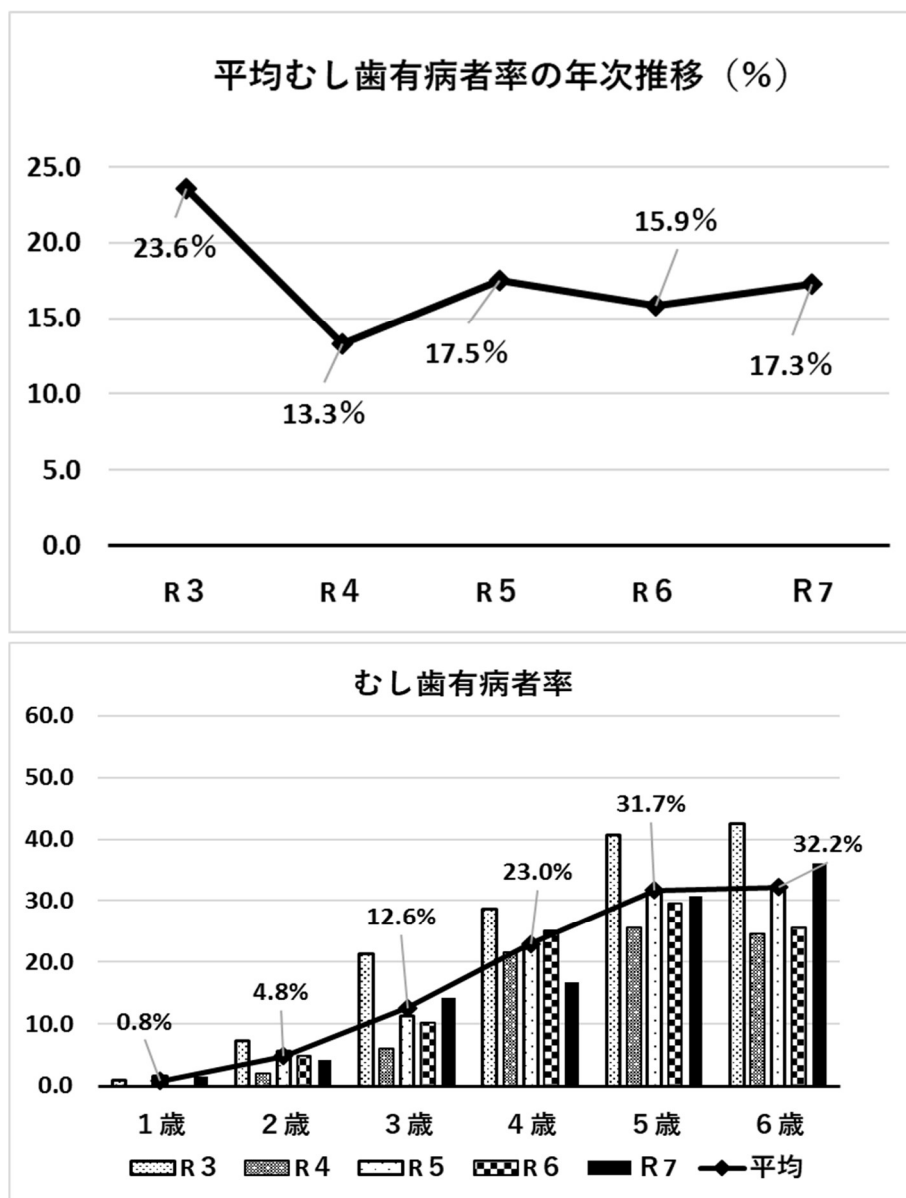


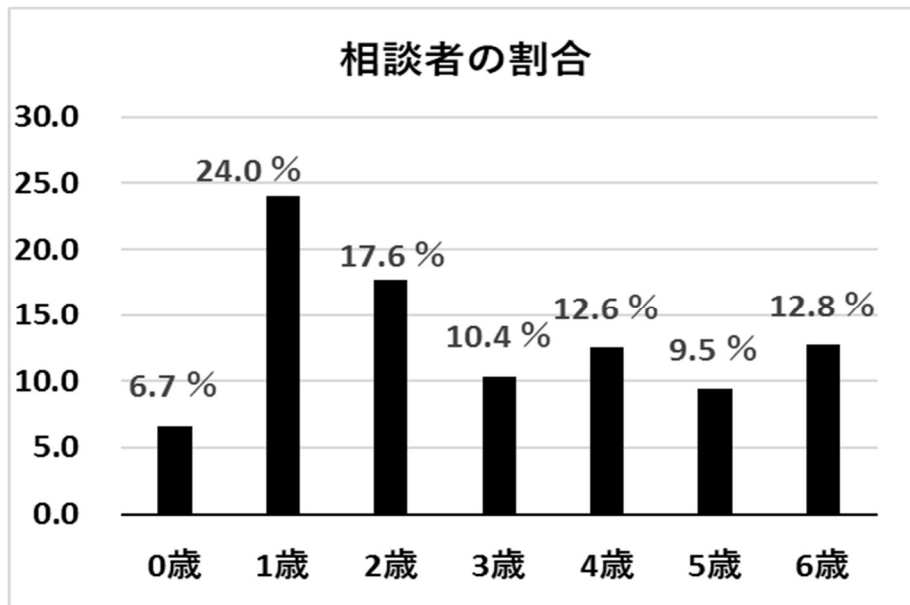
「令和7年度小樽市内保育施設歯科保健事業まとめ」より抜粋

【むし歯の状況】



年齢が上がるにつれて、むし歯のある子どもの割合も増加傾向です。乳歯も永久歯も、生えたての歯は質が弱いため、ある程度歯の成熟が進むまでの、歯が生えてから約3年間はむし歯になりやすいのですが、保育施設に通う時期は、この期間と重なっています。

【お口についてのご相談】



	R3	R4	R5	R 6	R 7
在籍数	1,233	1,191	964	940	895
相談数	209	194	164	136	125
相談割合 (%)	17.0	16.3	17.0	14.5	14.0

平成 15 年度より、保育施設歯科健診において書面相談のを実施を開始し、利用者の約 15.7%からご相談を受けています。

今年度は前年度同様、1 歳・2 歳児の保護者からの相談が多い傾向でした。

ご相談内容について、今年度の上位 5 項目は、

- 1 位：歯並び・咬み合わせについて
 - 2 位：歯磨き・汚れ・歯石などについて
 - 3 位：気になる生活習慣（指しゃぶり・おやつ等）について
 - 4 位：お口の不調（痛み・口臭・外傷等）について
 - 5 位：歯ぎしりについて
- となりました。